

ゼミ研究活動の紹介

1. 研究内容

今年度、演習Ⅰは非開講であり、現在4年生のみ。

近年、横山ゼミでは演習内容を変えつつある。例年は計量分析ソフト（Stata）を用いた実証分析であればテーマは自由としていた。ここ数年は、経済史研究あるいは制度変化をフォーカスした研究課題としている。例えば現役ゼミ生は、地震保険を対象に制度変化について調査、ならびに地震保険加入率の決定要因について都道府県レベルのデータ分析（パネル推定）に取り組んでいる。

2. 特記事項（研究会、発表などの研究活動）

①卒業論文を紀要『オイコノミカ』掲載

藤本真代(2016)「家族の絆が支える命：都道府県別データによる自殺要因分析」

服部恵(2010)「マネーサムライ：貨幣改鋳は旗本・御家人の実質所得を増大させたか？」

②卒業研究の成果は次年度以降の横山の学部授業教材として活用

金融論Ⅱ：小野健太郎・鷺津友香「私をスキーに連れてって」

NCU 先端研究：山口まどか「うる星やつら」；鶴生浩輔「山椒は小粒でピリリと辛い」

③第4回日銀グランプリ，最優秀賞（市村晃一・大野功二・犬飼佑馬 2008）